

異種の道をつなぐネットワークづくり

2012年5月JAPIC森林再生事業化委員会 委員長 慶大米田雅子

(1) 目的

- ・国土保全、環境保全
- ・防災・命の道
- ・森林の整備(森林・林業の再生)

(2) 具体的な施策

「山間地の道ネットワークの形成」
(シームレスに道をつなぐ)

- ①公道(国道、地方道、農道、林道等)、民道(電力管理道、通信管理道、林業路網等)、国有林林道、砂防施設管理道等、異種の道をつなぎ、ネットワークを形成
- ②官民の連携強化(災害時、緊急時、森林整備時には、民道も使用できるよう協定を官民で締結)と体制の整備(維持管理体制の検討)
- ③そのために必要なデジタル情報基盤(通行規制(車両重量、雨量)、舗装種別等)の整備と相互利用の推進

(3) 体制

国土交通省、農林水産省、総務省、
関係自治体(都道府県、市町村)、関係民間企業等

最少コストでネットワークを構築

